

# 主要国・国際機関における グローバルヘルス関連予算の動向

2018年5月31日

Center on Global Health Architecture

事務局: 新事業開発室 副長 小柴巖和

[michikazu.koshiba@murc.jp](mailto:michikazu.koshiba@murc.jp)

# 目次

---

I. 主要国におけるグローバルヘルス関連予算の動向	2
II. グローバルヘルス関連の国際調達市場	7
III. United Nations Children's Fund (UNICEF)	11
IV. World Health Organization (WHO)	13
V. Bill and Melinda Gates Foundation	17
VI. The Global Fund	20
VII. UNITAID	24
VIII. Foundation for Innovative New Diagnostics (FIND)	27
IX. その他のグローバルヘルス関連の主要国際機関	30

---

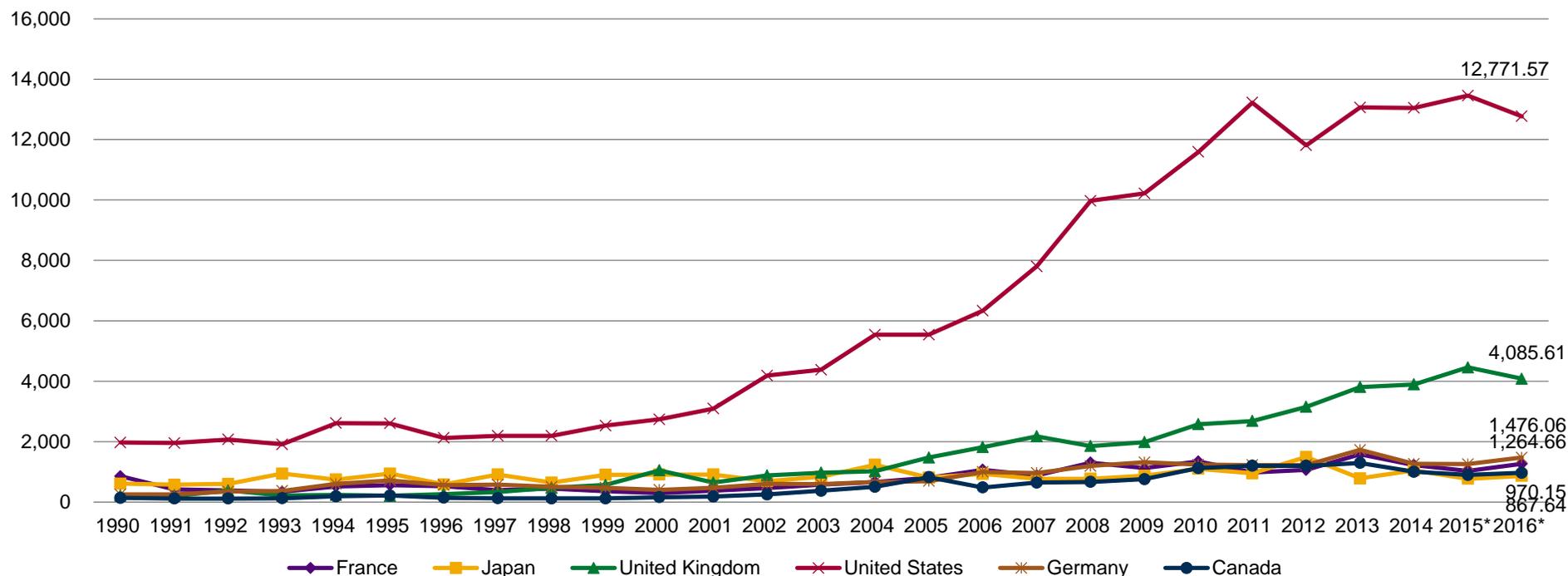
# 1. 主要国におけるグローバルヘルス関連予算の動向

# IHMEレポートによる各国グローバルヘルス予算の動向①: 国別拠出額

- ワシントン大学によるグローバルヘルスに向けた国際協力政府予算の経年統計では、米国・英国の2か国の予算配分が抜きんでて高く、2位グループとしてドイツ、フランス、カナダ、日本が位置しているとされる。特に2000年代に入ってからトップ2か国が予算を積み増す一方、日本をはじめ、90年代からほぼ横ばいの予算となっている2位グループとの差が大きく開いている。

Development assistance for health from national treasuries, 1990–2016

(Million USD)



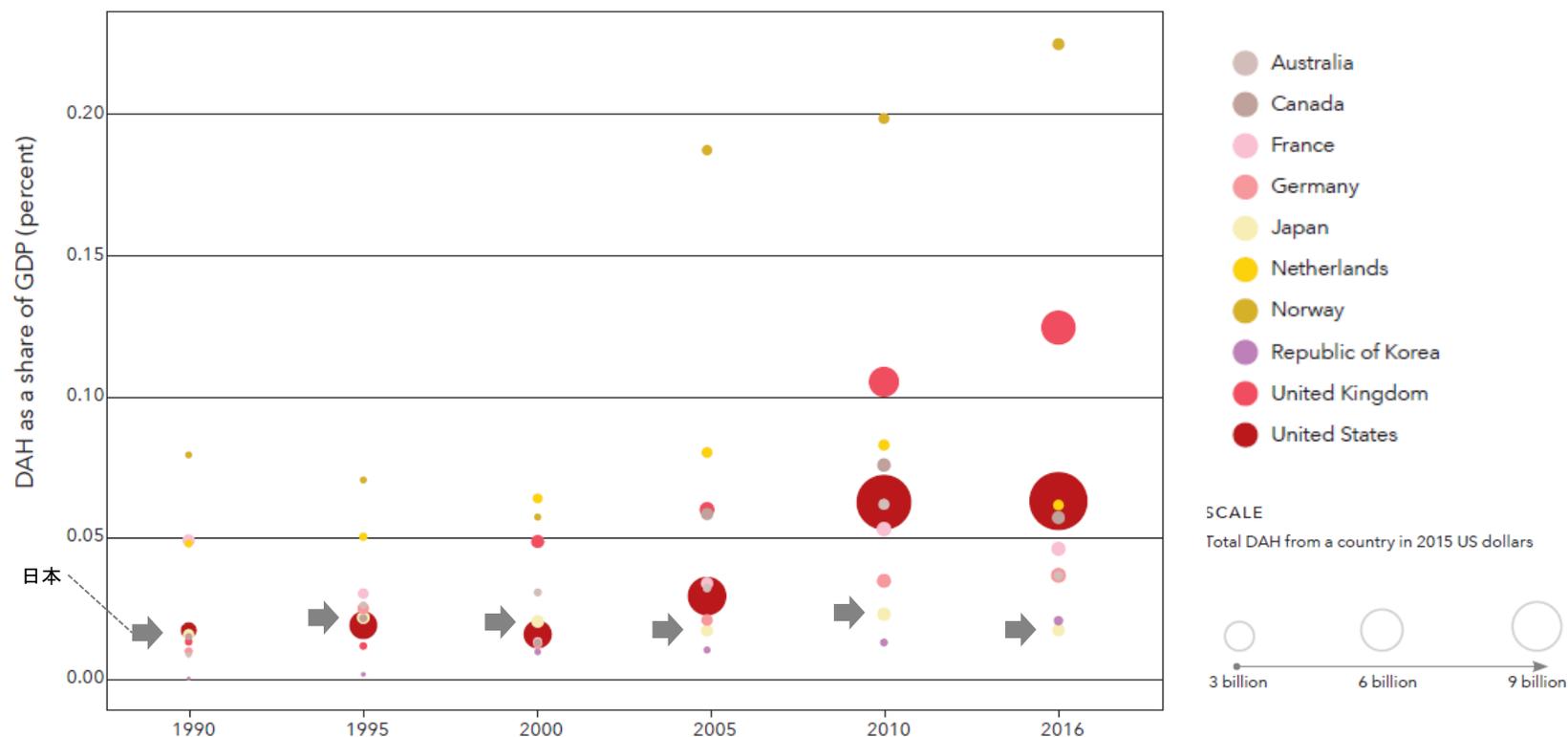
出所のワシントン大学IHMEによると、複数のデータソースに基づく、「中・低開発国向けの」「保健衛生に関する」「金銭またはそれに類する援助」の総額であるとしている。

(出所) Institute for Health Metrics and Evaluation (IHME) (2017), *Financing Global Health 2016: Development Assistance, Public and Private Health Spending for the Pursuit of Universal Health Coverage*, IHME, Seattle, WA.

# IHMEレポートによる各国グローバルヘルス予算の動向②: 対GDP比率

- 同数値をベースに各国のGDP比率での推移を見た場合、日本は2位グループの中でも比較的低い位置で推移している。

Total DAH relative to DAH measured as a share of a source's GDP, 1990-2016



(出所) Institute for Health Metrics and Evaluation (IHME) (2017), *Financing Global Health 2016: Development Assistance, Public and Private Health Spending for the Pursuit of Universal Health Coverage*, IHME, Seattle, WA.

# Donor Trackerによる各国グローバルヘルス予算の動向：対ODA比率

- Donor Tracker、AidData等がOECDなどから集約しているデータでは、各国のGlobal Health向けODA(およびODA的投資)の状況は以下となっている。
- OECD-DAC30カ国平均のGlobal healthの総ODA対比率は9%。

	ODA-Global health (2016) (in USD million)	Global healthの 総ODA対比率(約数)
US	9 871	28.1%
UK	2 423	13.3%
Germany	1 144	4.3%
France	944	8%
Japan	900	5.4%
Canada	764	19.2%
China* <sup>1</sup>	278	0.7%

(出所) Donor Tracker website, <https://donortracker.org/deep-dive/global-health> (2018/5/29アクセス); AidData (2017), Global Chinese Official Finance Dataset, Version 1.0, retrieved from <http://aiddata.org/data/chinese-global-official-finance-dataset> (中国のデータのみ)

# G-FINDERによる各国グローバルヘルス予算の動向：R&D関連予算

- G-FINDERによる「顧みられない病気」(Neglected Disease)のための研究開発(R&D)にかかる予算のデータでは、各国の公的予算の状況は以下となっている。
- 米国の予算が抜きんでて高い一方、日本では、2012年にグローバルヘルス技術振興基金(GHIT)が設立されたことにより、政府によるR&D予算が近年伸びてきている。

	Global health R&D (2016) (in USD million)	対象疾患別			
		HIV/AIDS	結核	マラリア	その他の病気及び 区分不可の予算
US	1 490.3	792.7	225.8	207.0	264.8
UK	100.9	11.2	19.0	22.9	47.7
France	46.7	15.6	6.3	8.5	16.3
Germany	43.2	5.9	13.6	9.0	14.7
Japan	17.4	0.8	-	-	16.6
Canada	6.8	6.5	0.1	-	0.2

(出所) G-FINDER, Public Search Tool, <https://gfinder.policycuresresearch.org/PublicSearchTool/searchDisease> (2018/5/29アクセス)

---

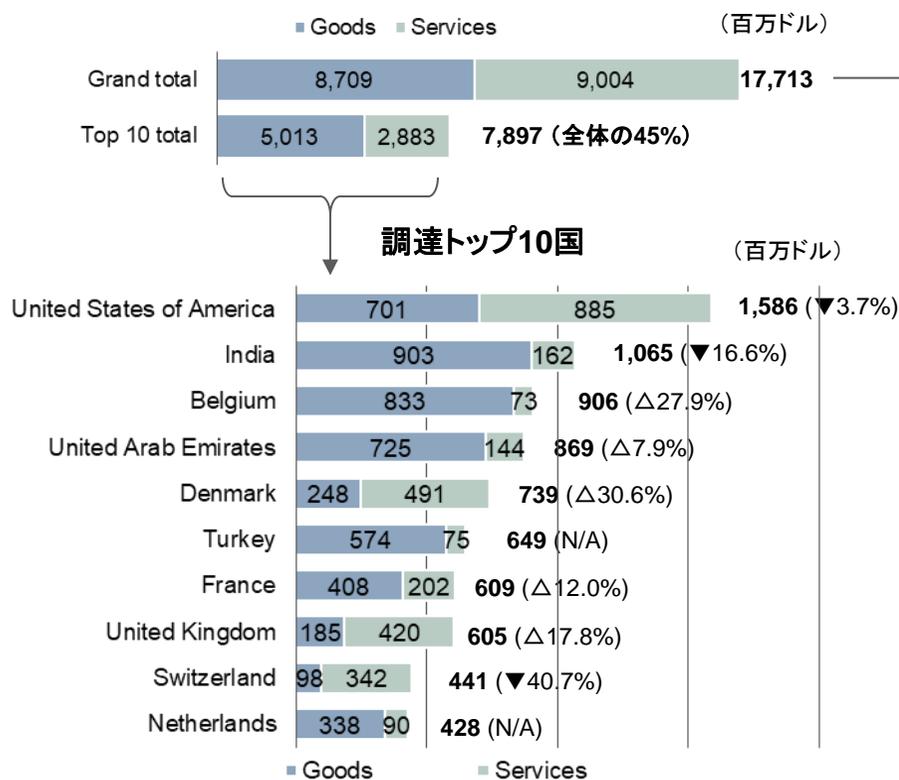
## II. グローバルヘルス関連の国際調達市場

# 国連調達の種類と金額 ～2016年度の概要～

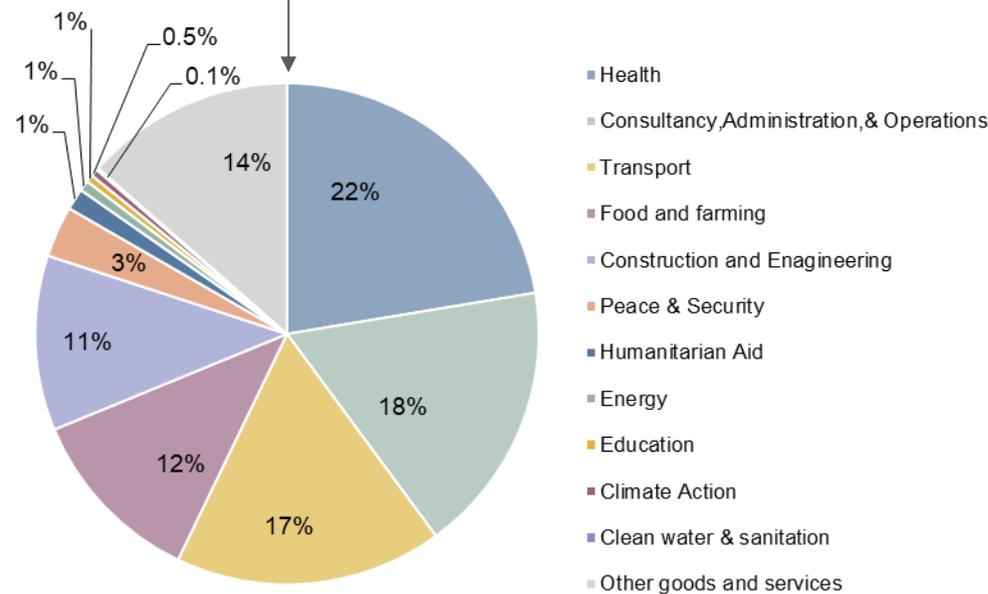
- UN関連組織による2016年の調達は、Goods(物品)とServices(サービス)を合わせて前年度とほぼ同水準の177億ドル(約1.9兆円)。うち約半数を構成する上位10か国の顔ぶれでは、トルコ・オランダが入り、ケニア・アフガニスタンと入れ替わった。
- 最大領域は前年度と同じヘルスケア分野で調達総額は約40億ドル:22%。これとは別に、水・衛生分野で23Mドル(0.1%)が実施された。

## 2016年度のUN関連組織による調達総額

## 2016年度の実業別構成



( )...前年度対比



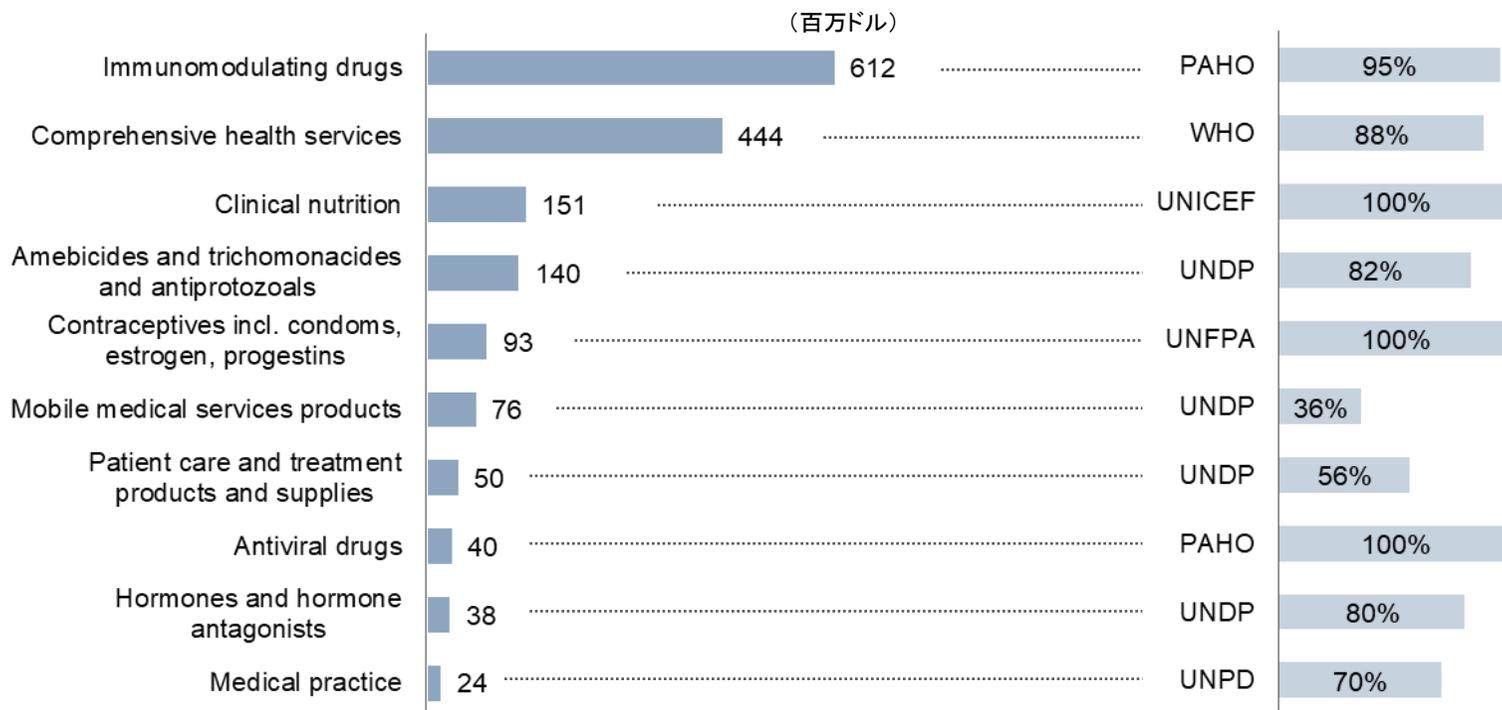
(出所) United Nations Office for Project Services (2017), 2016 Annual Statistical Report on United Nations Procurement, UNOPS, Copenhagen

## 国連調達の種類と金額 ～ヘルスケア領域～

- ヘルスケア領域内(GoodsとServicesを含む)ではワクチン薬が最大で6.1億ドル(15.4%)、また同様の抗ウイルス薬は40Mドルで別途上位となっており、いずれもPAHOによる調達がほぼ全量を占める。第二位は総合保険サービスが4.4億ドル、医療用栄養素が1.5億ドル、医薬周辺領域では患者ケア製品が49Mドルで上位。本年に上位となった項目として、移動式医療サービスが76Mドルとなった。
- 移動式医療サービスはUNDPが主・調達機関となっているが、構成比は35%程度と比較的低い。

ヘルスケア領域内のトップ10 UNSPSC\*1 familyカテゴリー  
(ヘルスケア全体の42.7%)

各カテゴリーの主・調達機関と占有率



(出所) United Nations Office for Project Services (2017), 2016 Annual Statistical Report on United Nations Procurement, UNOPS, Copenhagen.

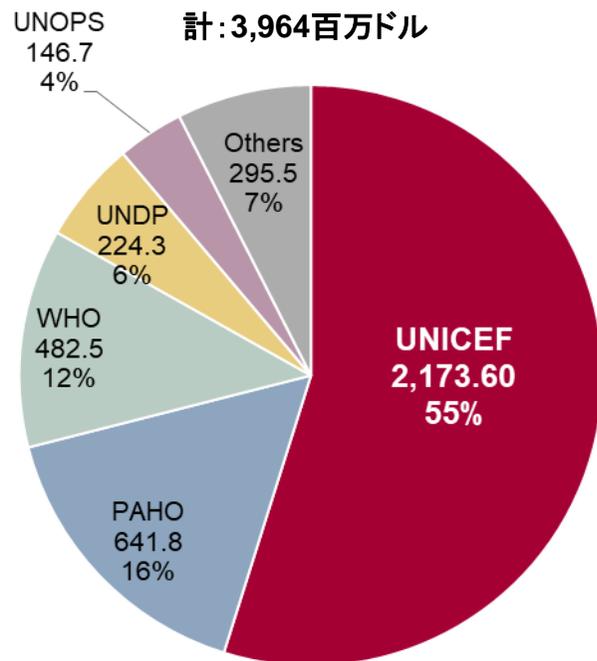
(注) 1. UNSPSC: United Nations Standard Products and Services Code

PAHO: Pan American Healthcare Organization  
UNOPS: The United Nations Office for Project Services  
UNPD: UN Procurement Division

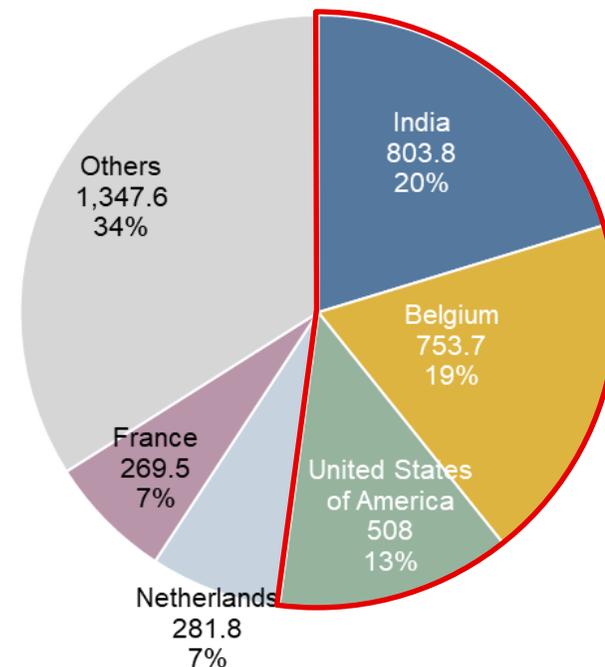
# 国連調達の実績

- ヘルスケア領域全体では、昨年と同様にUNICEFを中心に5つの国連機関が調達のほぼ全体(93%)を実施。
- ヘルスケア領域の調達国では上位3か国が全体の約半数を占有。インド・米国・ベルギーの構成は2015年と変化していない。

ヘルスケア領域の主要調達機関 (2016)



ヘルスケア領域のみの主要調達国 (2016)



(出所) United Nations Office for Project Services (2017), 2016 Annual Statistical Report on United Nations Procurement, UNOPS, Copenhagen.

---

### III. United Nations Children's Fund (UNICEF)

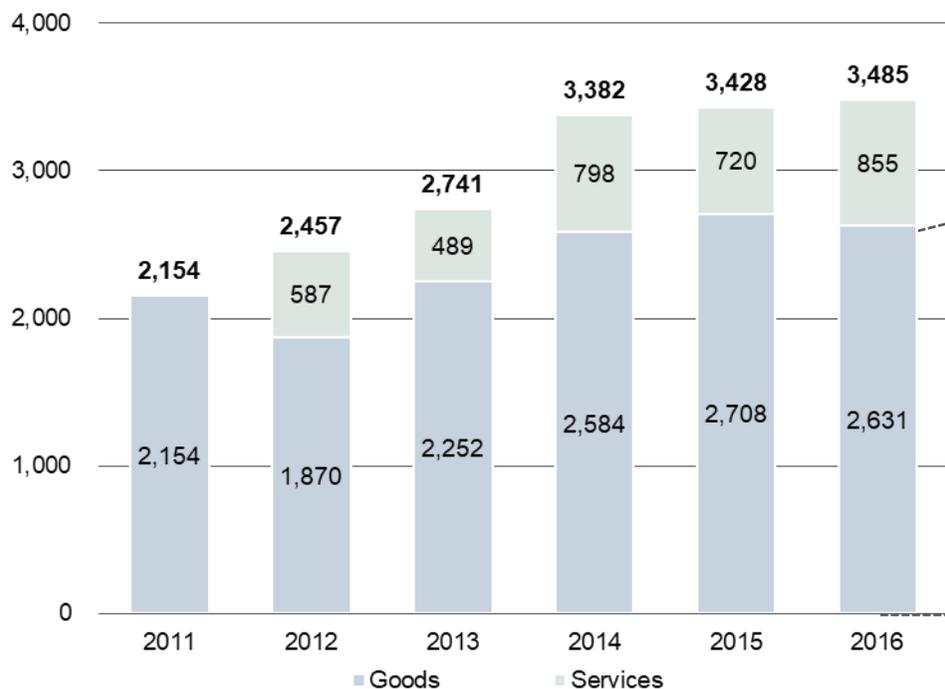
# UNICEFの調達状況

- ヘルスケア領域最大の調達機関であるUNICEFでは、調達の大部分(75%)をGoods(物品)で構成。Goodsの内訳では、医薬品・避妊具・ワクチンが7割近く(約18億ドル)で最大、次いで医療器具が14%(3.6億ドル)と続く。

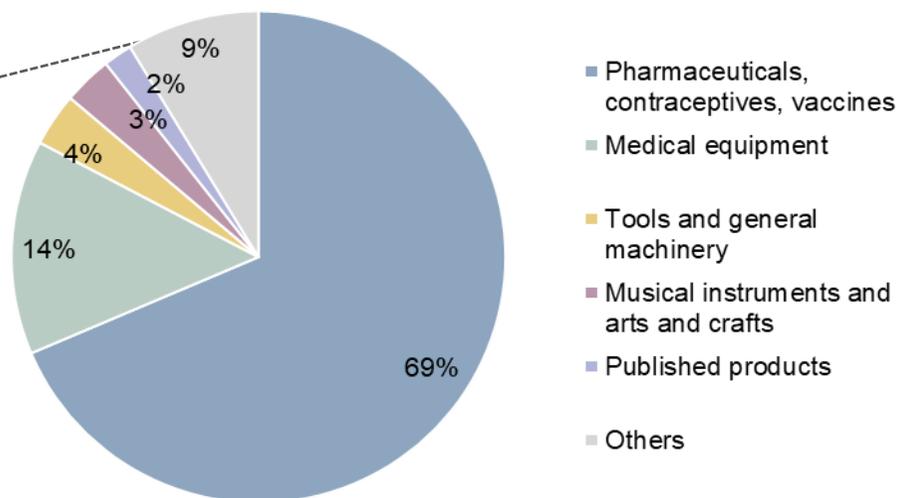
## UNICEFの調達: Goods/Services別

計: 3,964百万ドル

(in million USD)



## Goods(物品)領域の構成品目



(出所) United Nations Office for Project Services (2017), 2016 Annual Statistical Report on United Nations Procurement, UNOPS, Copenhagen.

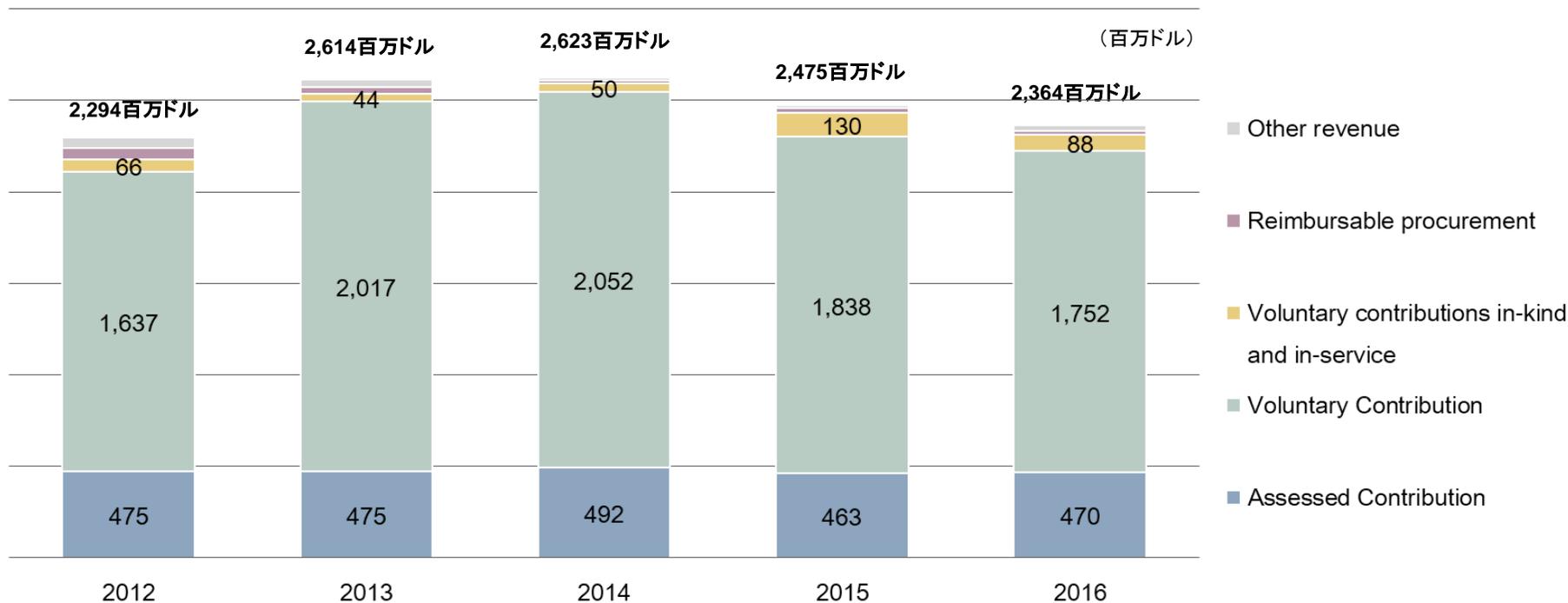
---

## IV. World Health Organization (WHO)

# WHOの活動資金の担い手

- WHO全体の活動資金は、メンバー国に対して経済力等に基づいて課せられるAssessed Contributionと、メンバー国、ならびにその他の資金供給者により“自主的に”供出されるVoluntary Contributionによって賄われている。近年のVoluntary Contributionの比重が極めて高い水準は2016年度も続いており、総額24億ドルの74%がVoluntary Contributionとなった。
- 直近の将来年度においても、Assessed Contributionの総額はほぼ同水準が予定されている。

## WHO総収益と供出資金方式の構成推移

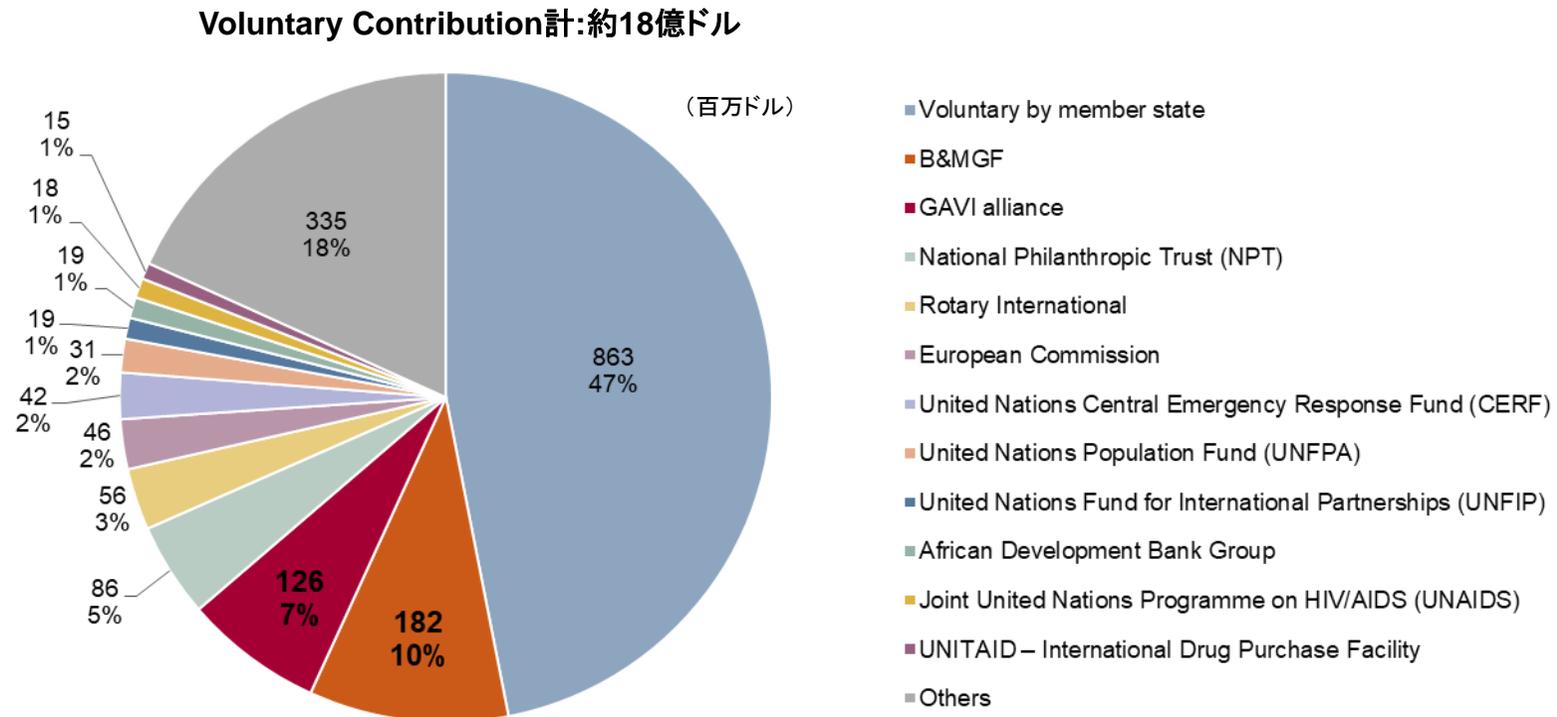


(出所) WHO (2018), "Assessed contributions payable by Member States and Associate Members 2018-2019"; WHO (2017), WHO Mid-term Programmatic and Financial Report for 2016-2017 Including Audited Financial Statements for 2016; WHO (2016), WHO Programmatic and Financial Report for 2014-2015 Including Audited Financial Statements for 2015; WHO (2014), Financial Report and Audited Financial Statements for the Year Ended 31 December 2013.

# WHOの活動資金の担い手

- Voluntary Contributionの内訳としては、約半分はメンバー国による自主的な追加拠出で賄われている。残りの半分は各種の国際機関や援助組織による拠出であり、なかでもB&MGF、GAVI Allianceは、それぞれVoluntary Contributionの10%、7%を拠出する大規模な資金提供者である。資金供給の観点からも、強い影響力が推察される。

## 全体の74%を構成する“Voluntary Contributor”の主な担い手



(出所) WHO (2016), “Voluntary contributions by fund and by contributor”, 69<sup>th</sup> World Health Assembly provisional agenda item 20.1 A69\_INF3

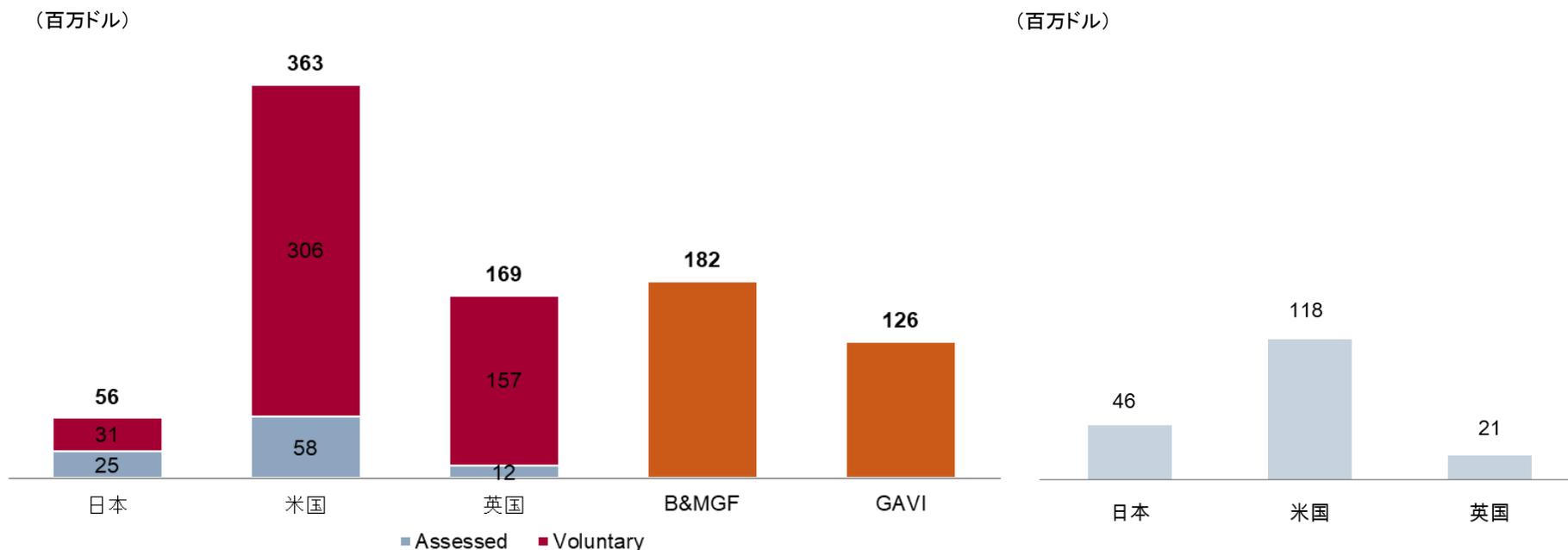
# WHOの活動資金の担い手

- 国別の提供者と比較すると、米国や英国はWHOに課されたAssessed Contributionの6倍～10倍のVoluntary拠出を行っている一方、日本はほぼ同額の拠出に留まる。B&MGFの拠出額は英国の総拠出額並みであり、日本の総拠出額の約3.5倍に上っている。
- 各国によるAssessed Contributionの金額は増加の見通しだが、日本・米国・英国の比率は現状と同様で推移する。

## 日・米・英とB&MGF、GAVIのWHO資金拠出比較

2015年度の金額 (Assessed contribution, Voluntary contribution)

2018-2019年度予定 (Assessed contributionのみ)



(出所) WHO (2016), "Voluntary contributions by fund and by contributor", 69th World Health Assembly provisional agenda item 20.1 A69\_INF3; WHO Assessed Contributor Status Report 2015/ 2016.

---

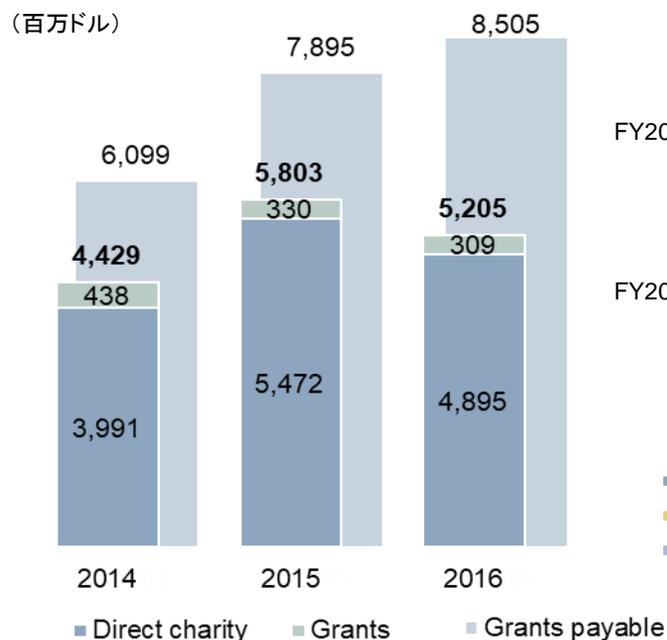
## V. Bill and Melinda Gates Foundation

# Bill and Melinda Gates Foundation

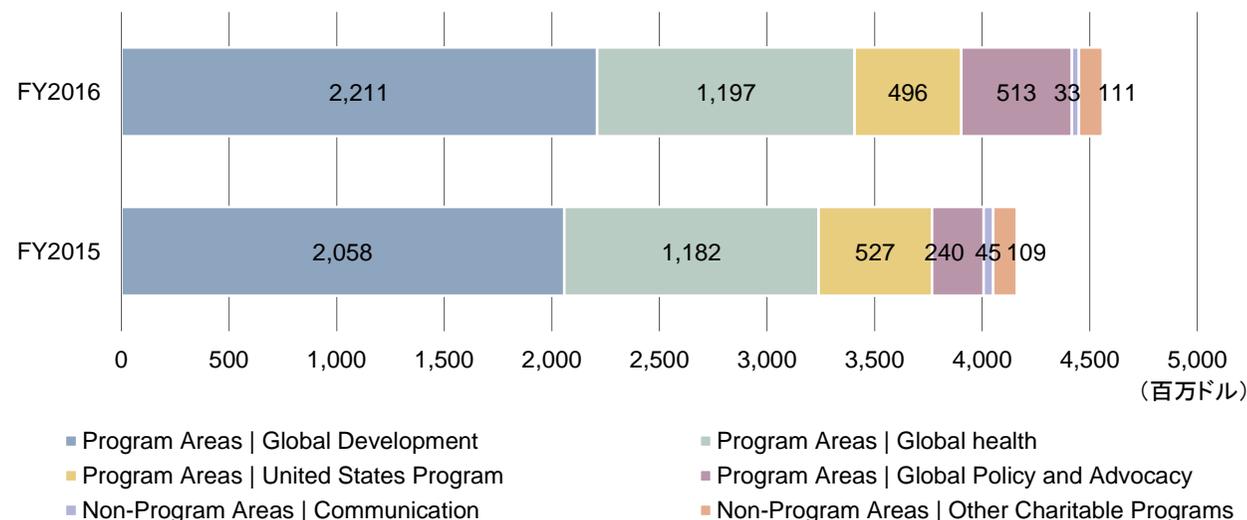
- マイクロソフトの創業者ビル・ゲイツ氏と妻のメリンダ・ゲイツ氏により創設された援助機関。途上国の貧困や衛生、疾病、米国の教育システムの問題に対決することを目的に活動。国際開発、米国内課題、コミュニティ強化、グローバルヘルス、政策支援・啓発などの領域への支援を行う。翌年度以降の支援約束額を含めた支援総額は、2016年度も前年度に引き続き拡大を続けている。
- 支援の約半分は国際開発、約1/4(約12億ドル)はグローバルヘルス領域に投下されており、いずれも前年度に比べて増加している。

## B&MGFの支援額および支援領域

### 支援総額の推移



### 支援分野の推移



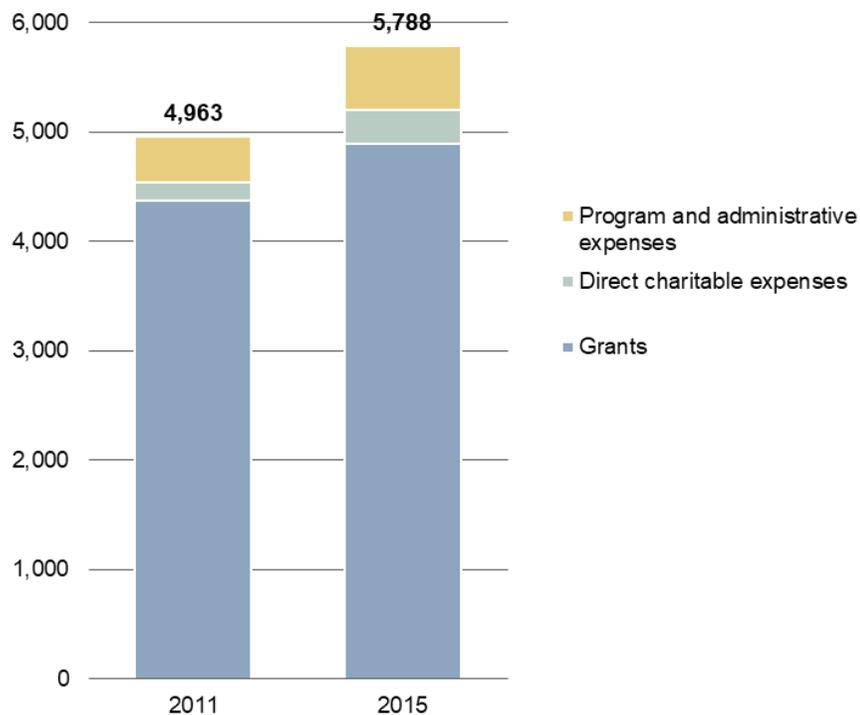
(出所) Bill & Melinda Gates Foundation (2017), *Consolidated Financial Statements December 31, 2016 and 2015*; Bill & Melinda Gates Foundation (2016), *Consolidated Financial Statements December 31, 2015 and 2014*; Bill & Melinda Gates Foundation (n.d.), "Annual Reports", <https://www.gatesfoundation.org/Who-We-Are/Resources-and-Media/Annual-Reports> (2018/5/29アクセス).

# Bill and Melinda Gates Foundation ～経年状況～

- 同財団による総支援規模は2011年から2015年の間に17%増加。また財団への資金供給元となっている資産信託会社(B&MGF trust社)の資産総額も17%増加して387億ドルとなり、資産構成では2006年にウォーレン・バフェット氏により寄付されたバークシャー・ハザウェイ社のB株が依然として最大、次いで米国国債となっている。

## 総支援額の変化

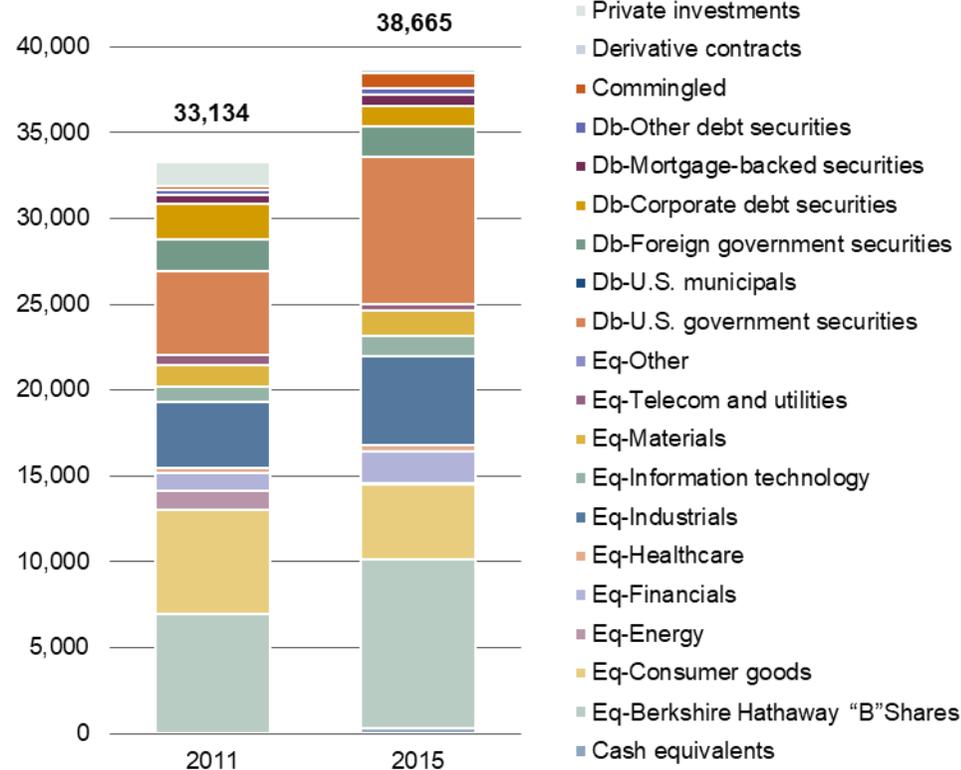
(百万ドル)



(出所) B&MGF and Trust financial report 2011, 2015

## “Trust”社の資産構成の変化

(百万ドル)



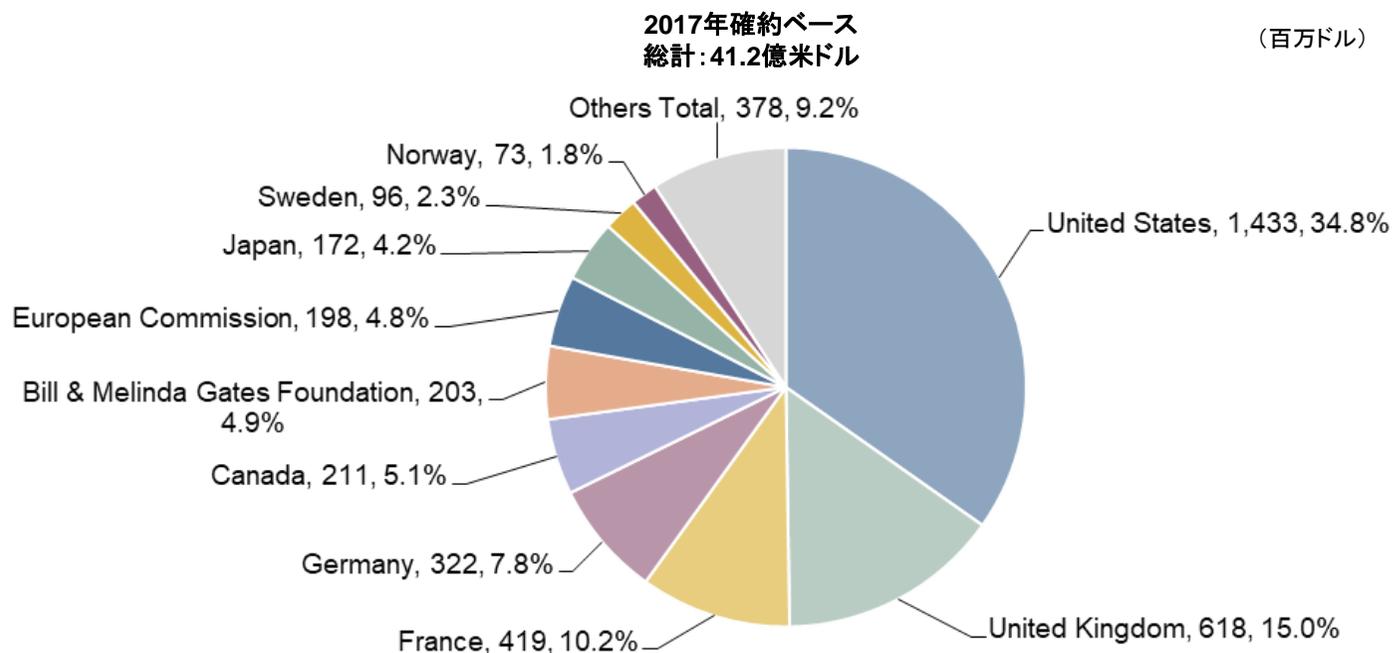
---

## VI. The Global Fund

# The Global Fund

- Global Fundは、エイズ、結核、マラリアの撲滅のために2002年に創設。政府、非政府の各種組織による協力機関として、国およびその他の機関による資金のもと、これらの3疾患に対するプログラムに資金を提供している。
- 2017年度に実施された第五次資金供出(2017-2019年度分)のうち2017年分の資金総額は41.2億米ドルで、同32.6億米ドルであった2016年から1.26倍に増額された。
- 日本の拠出額は1.7億米ドルで、確約金額ベースでの構成比は3.2億米ドルを供出した2016年度の9.8%(3位)から4.2%(8位)へと低下した。

## The Global Fundへの資金提供状況 (2017年 第5次資金供出のうち2017年分)



(注) 各国およびB&MGFの予定負担額について、2016年度の約束額をベースに米ドルに通貨換算して算出

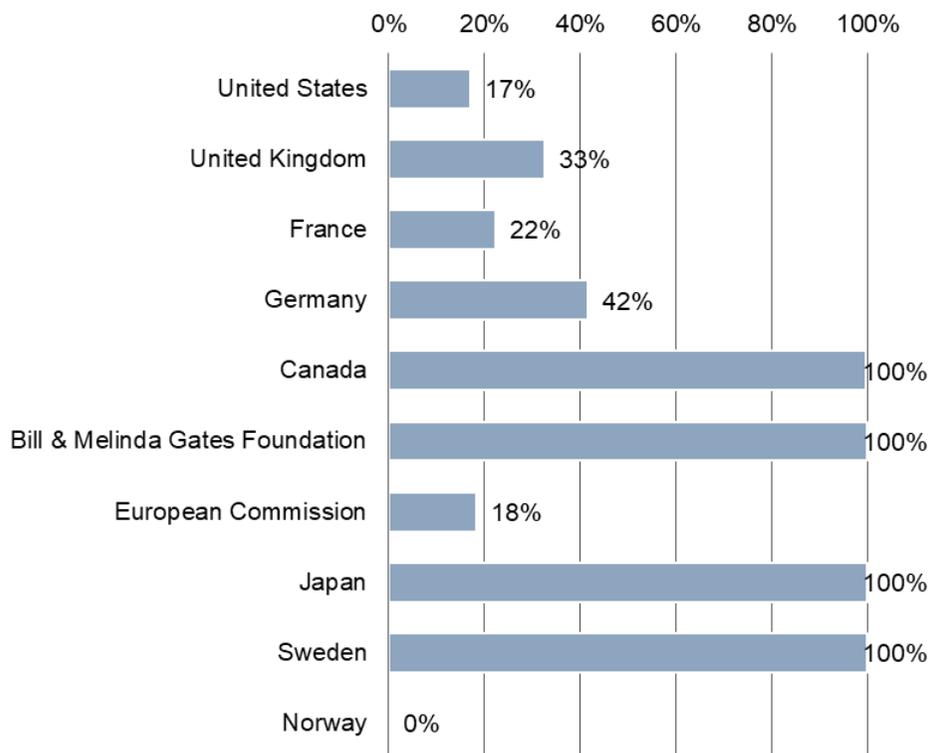
(出所) The Global Fund (n.d.), "Pledges and contributions", <https://www.theglobalfund.org/en/government/> (2018/5/29アクセス).

# The Global Fund

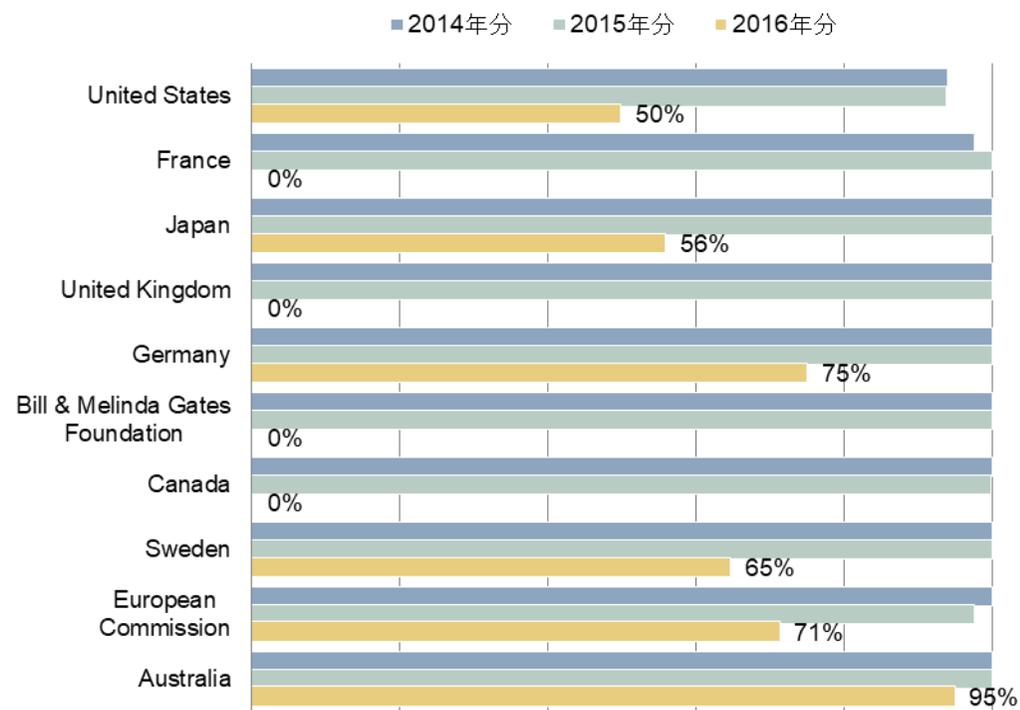
- 資金拠出の執行リードタイムには国ごとに差があるとみられる。

## 主要供出国による資金提供の”執行”状況(2016年9月末時点)

### 2017確約分の2017/9月時点での執行状況



### 2014-2016確約分の2016/9月時点での執行状況(参考)

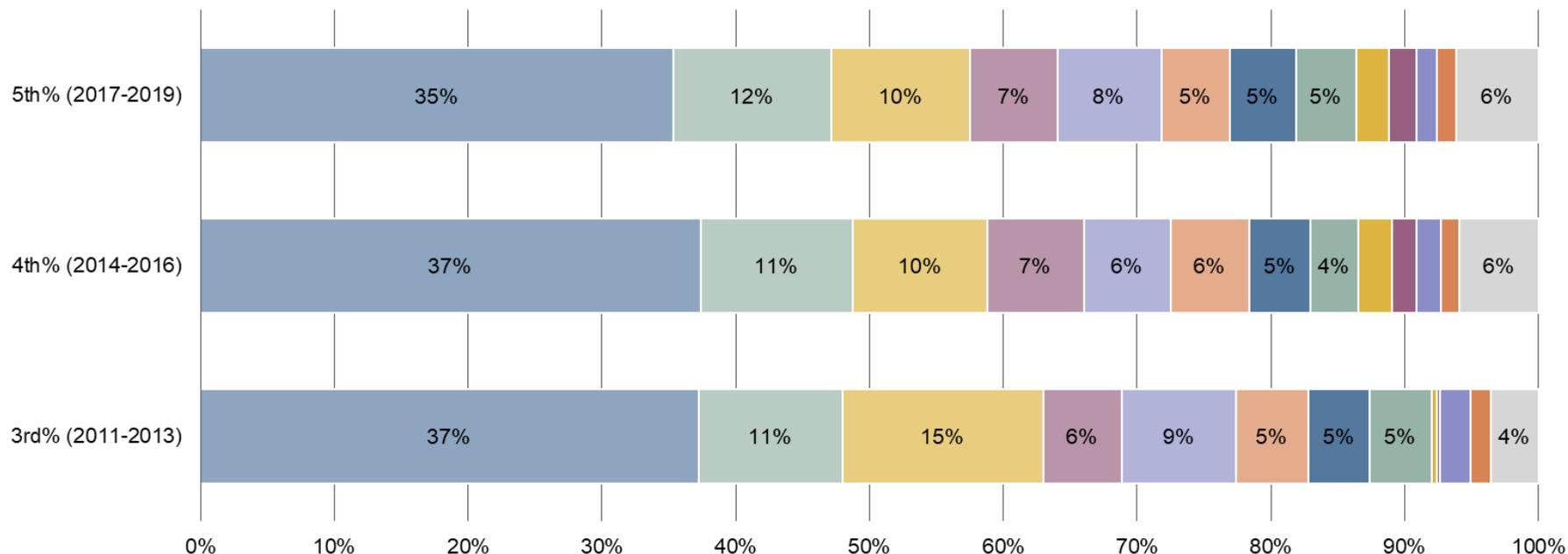


(出所) The Global Fund (n.d.), "Pledges and contributions", <https://www.theglobalfund.org/en/government/> (2018/5/29アクセス).

# The Global Fund ～経年状況～

- 2011-2013の第三回資金調達以来、米国は約1/3の資金を供出し最大のドナー国となっている他、英国、フランスが続く。日本はドイツ、カナダとともにその下に続く供出国となっているが、第五期(2017-2019)通期ではドイツの比率が日本を上回る。

The Global Fundへの資金提供 ～3rd (2011-2013), 4th (2014-2016) pledgeの推移～ (コミットメントベース)



- United States
- United Kingdom
- France
- Japan
- Germany
- Canada
- Bill & Melinda Gates Foundation
- European Commission
- Sweden
- Norway
- Netherlands
- Australia
- Others

(出所) The Global Fund (n.d.), "Pledges and contributions", <https://www.theglobalfund.org/en/government/> (2018/5/29アクセス).

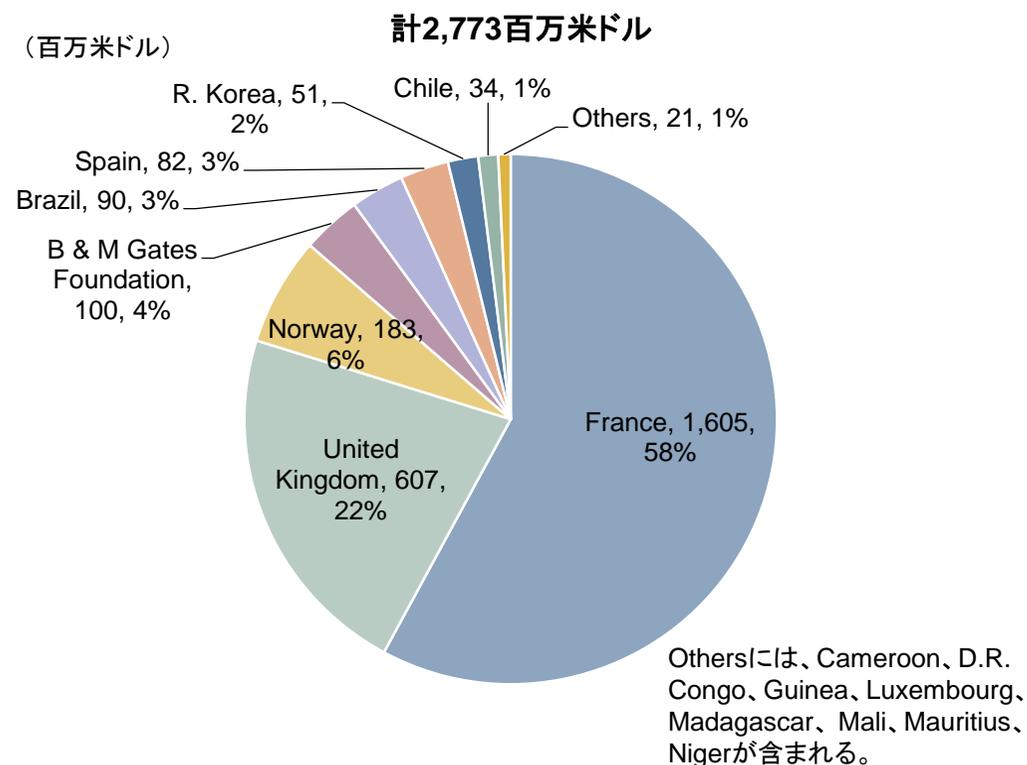
---

## VII. UNITAID

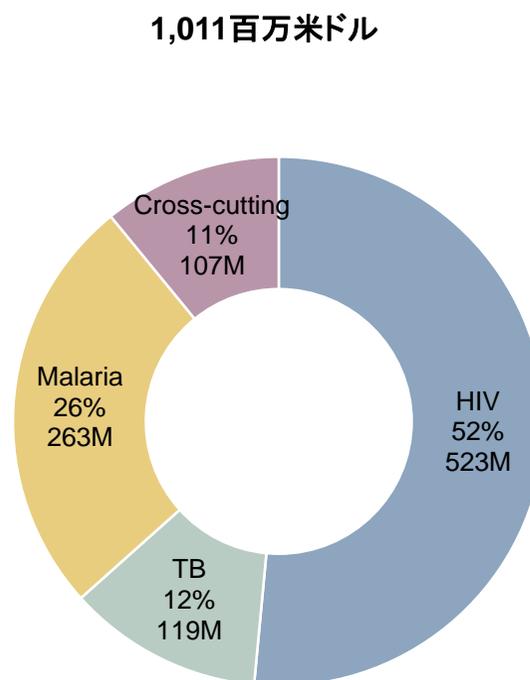
# UNITAID

- 2006年にブラジル、チリ、フランス、ノルウェー、英国により創設。他の援助機関と連携し、AIDS、結核、マラリアの診断と治療を、より安価に、より迅速に、より効果的にすることを目的に活動。新技術の開発やコストの削減などを目的としたプログラムへの資金支援を行う。WHOのPQに対しても、大口の資金供給を行っている。
- 資金支援先疾患領域別では、2017年時点でHIVが52%と最大、次いでマラリアが26%となっている。

資金供給者 (2006-2016累計)



UNITAIDによる2017年7月時点の資金支援先領域

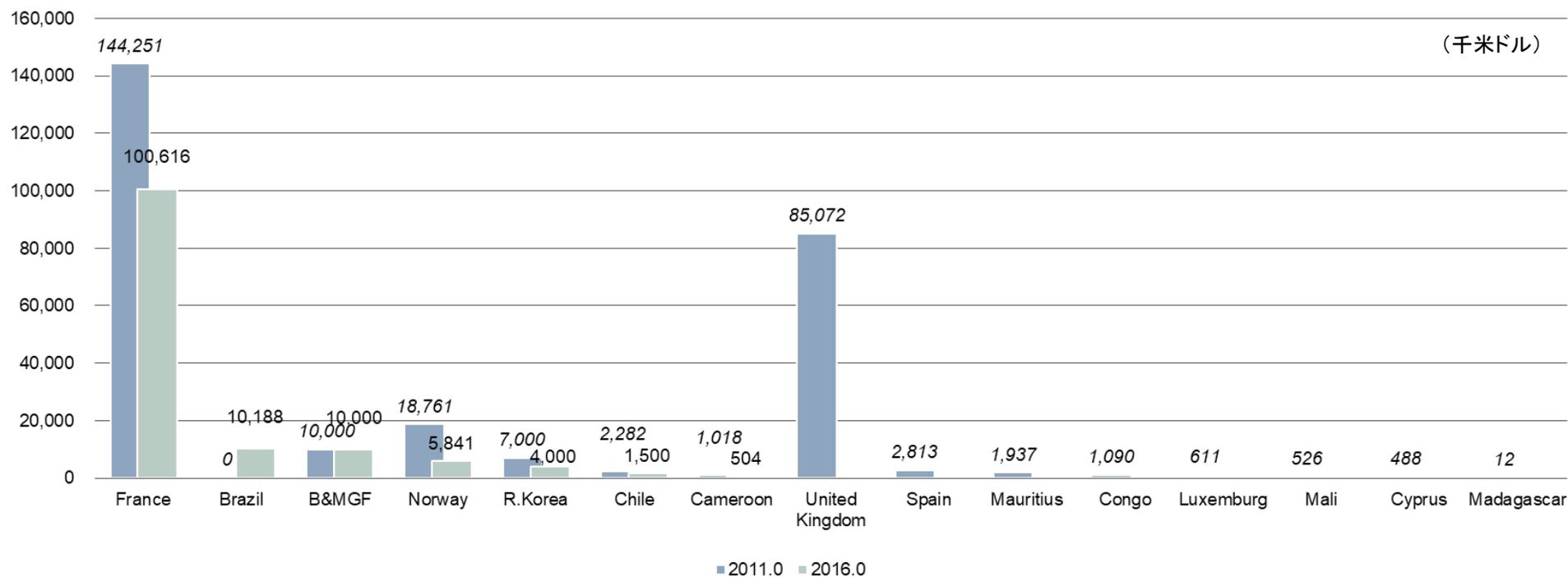


(出所) UNITAID (2018), *Annual Report 2016-2017*, UNITAID, Geneva.

# UNITAID ～経年状況～

- 資金供給者の分布状況は、主要な資金供給者については2011年～2016年で大きな変化はないが、2011年にはアフリカ諸国(実質的な beneficiary)からも幾分の拠出を受けていた。
- 総額は2011年の276百万米ドルから2016年には133百万米ドルとほぼ半減しているように見えるが、これは、2016年の総額に英国による promissory notes (2015～2017年の3年間で132百万英ポンド)が含まれていないことによる。

## 資金供給者の経年状況 2011-2016



(注) 2016年の資金供給額により降順で並べたもの。

(出所) UNITAID (2018), *Annual Report 2016-2017*, UNITAID, Geneva; UNITAID (2011), *Annual Report 2011*, UNITAID, Geneva.

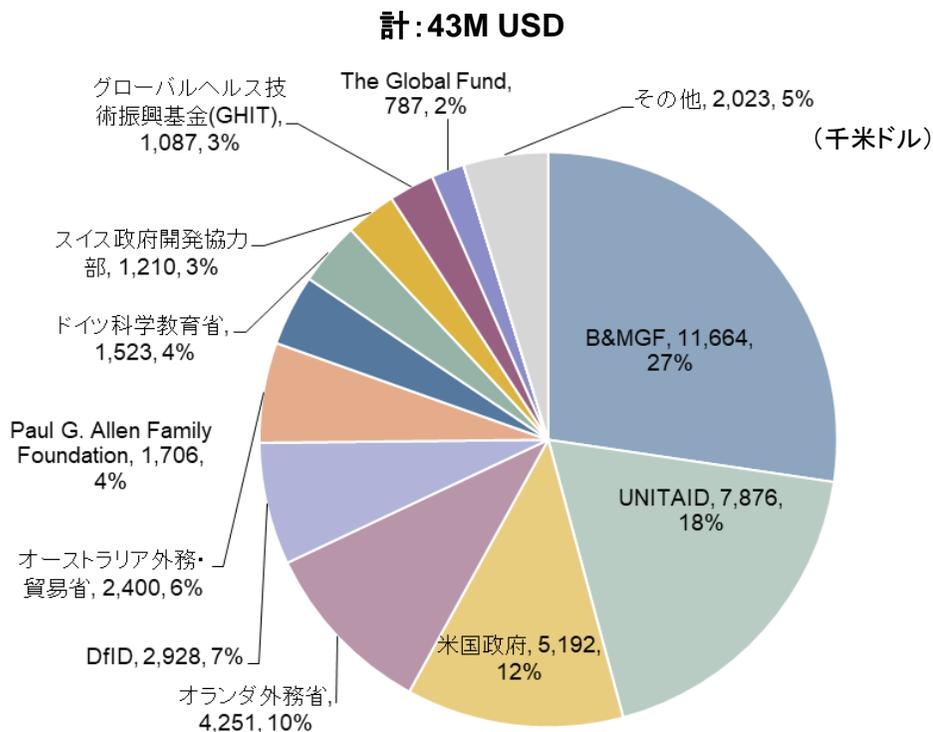
---

## VIII. Foundation for Innovative New Diagnostics (FIND)

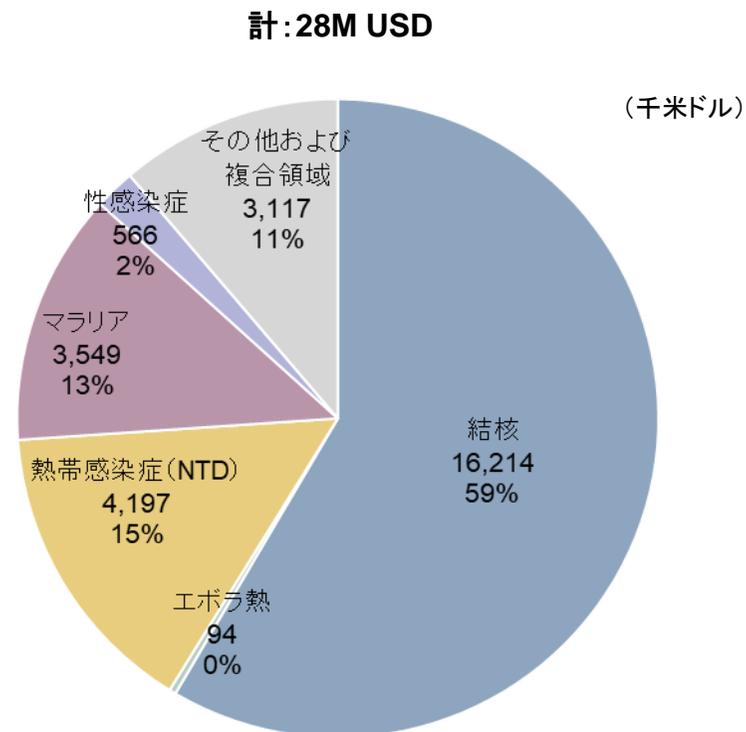
# FIND

- 2003年に創設され、貧困に関わる疾病領域ー結核、マラリア、眠り病、C型肝炎、HIV、リーシュマニア、ブルーリ潰瘍、シャーガス病などに対する検査の普及・開発に取り組むNPO。技術開発の専門家、政策、診断現場との橋渡しを行い、「製品開発パートナーシップ」形式で、150を超える各国保健当局、研究やWHO等と連携した開発支援を行う。

資金供給者(2016年)



疾病別の資金用途(2014年)

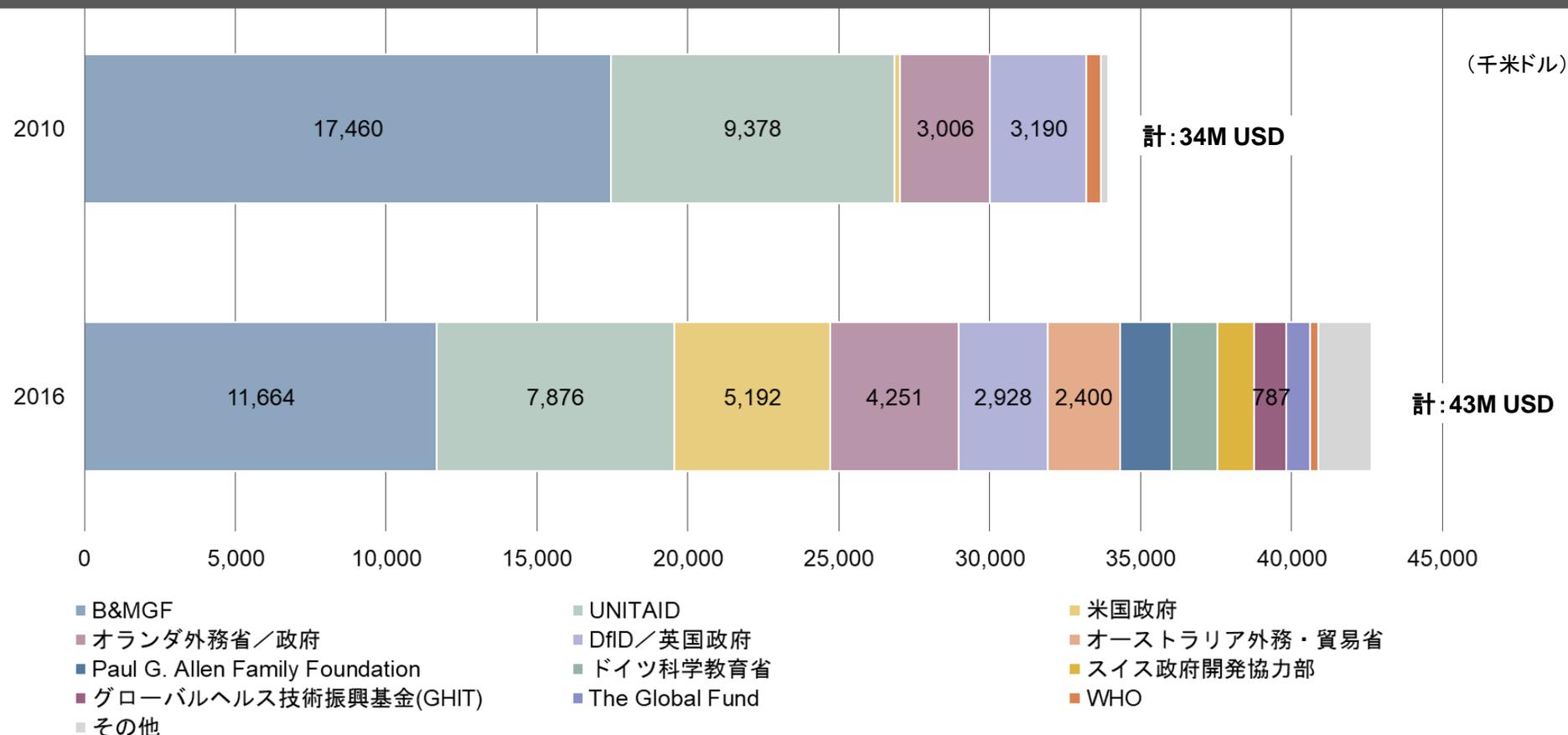


(出所) FIND (2017), *FIND Annual Report 2016*, FIND, Geneva; FIND (2015), *FIND Annual Report 2014*, FIND, Geneva.

# FIND ～経年状況～

- 資金提供者の変化では、2010年時点ではB&MGF、UNITAIDからの資金が全体の80%を占めていたところ、2016年までに資金提供者が分散化。米国政府、GHITなどの資金の積み増しにより、上記2資金源の比率は50%以下となっている。

資金供給者の経年状況(2010～2016年)



(出所) FIND (2017), FIND Annual Report 2016, FIND, Geneva; FIND (2011), FIND Annual Report 2010, FIND, Geneva

---

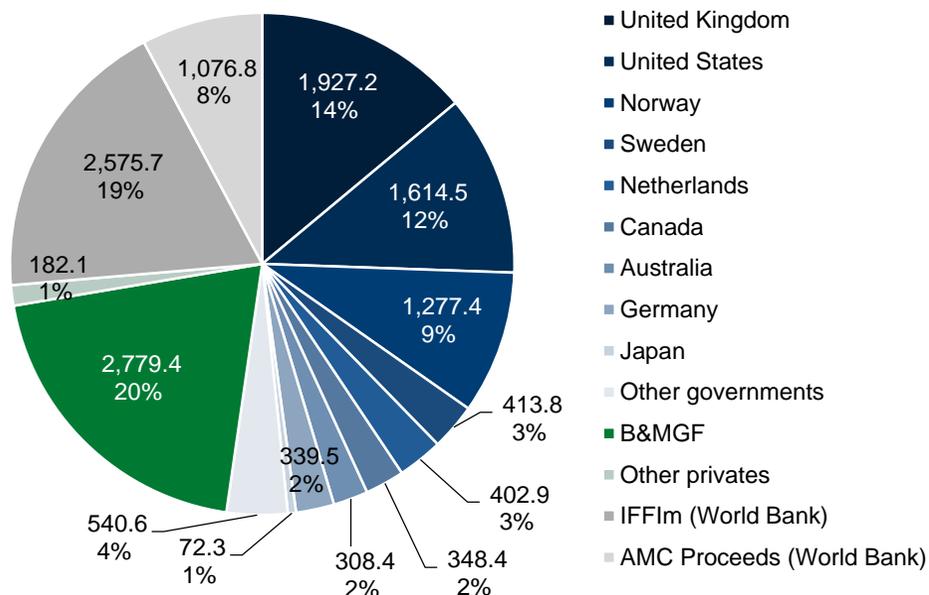
## IX. その他のグローバルヘルス関連の主要国際機関

# GAVI The Vaccine Alliance

- WHOやUNICEF、WB、B&MGF等の支援によりワクチンの開発と普及を推進。Gavi、IFFIm、Campaignの3つの活動母体により資金集め・プログラム向け出資を行う。2016年度はグループ全体で各国政府や民間より15億ドルの支援を取得\*1。
  - 2015年度は44億ドルと高額だったが、これは一部の複数年度の支援が財務ルール上、単年度に計上されたことによる。
- 米国・英国など欧米政府の拠出率が高く、日本は2016年で1%程度。Private DonorではB&MGFがほぼ全てを占める構造が続いている。

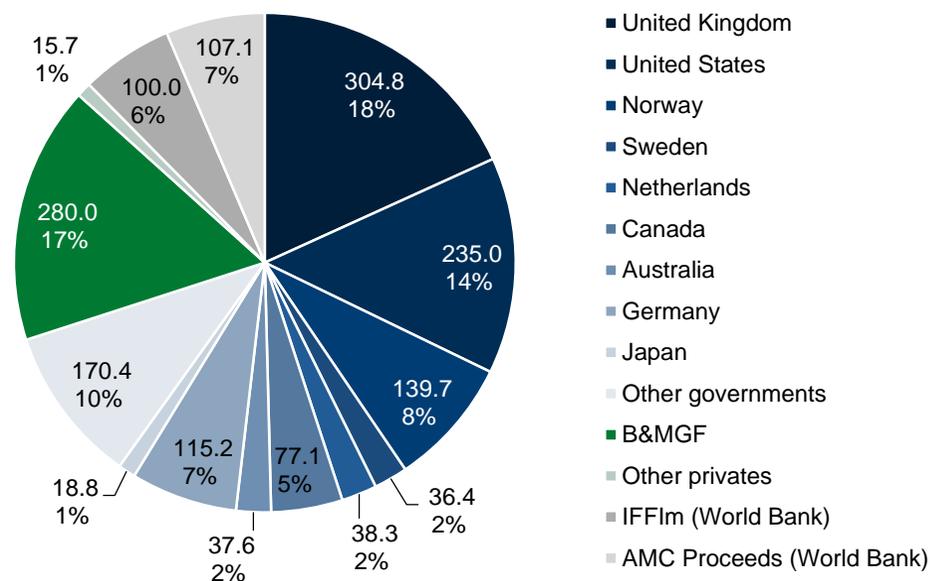
資金供給者 2000～2016年累計 (Gavi単体)  
計: 13.9bn USD

(百万 USD)



資金供給者 2016年単年 (Gavi単体)  
計: 1.7bn USD

(百万 USD)



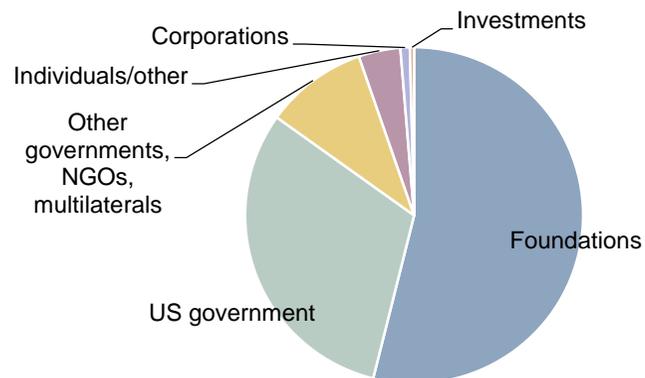
(出所) GAVI (2017), GAVI, *The Vaccine Alliance: 2016 Annual Financial Report*, GAVI, Geneva.

(注) 1. グループ全体の合計額はIFFIm、AMC Proceedsを含まない。

# PATH – Program for Appropriate Technology in Health

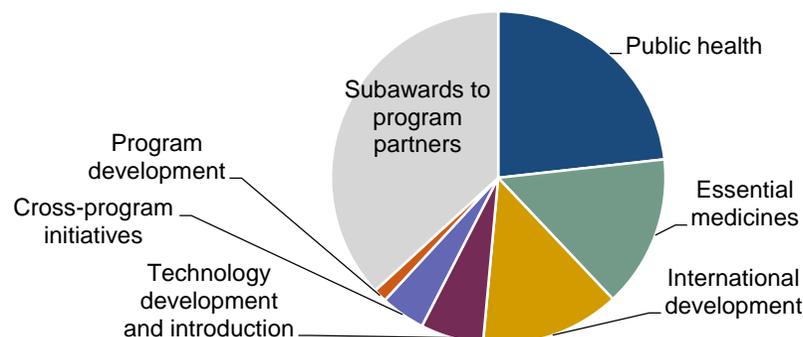
- ワクチン、薬、診断、機器、およびそれらのイノベーションを目的とするNPO。40年前に人口管理の課題に対する避妊の普及啓蒙から活動を開始、現在では医薬、診断、熱帯感染症、結核、ワクチンなど幅広い領域を取り扱っている。
- 2016年度の年間運用額は3.3億USDで、前年度から18%増加。ドナーは国際機関が全体の54%、米政府が30%。B&MGFも低金利融資を行っている。

## Sources of Revenue



■ 53.9%	Foundations	178,833
■ 31.0%	US government	102,818
■ 9.8%	Other governments, NGOs, multilaterals	32,500
■ 4.0%	Individuals/other	13,183
■ 0.9%	Corporations	3,120
■ 0.4%	Investments	1,470
		<b>\$331,924</b>
		\$288,648 in 2015

## Use of Funds



■ 23.2%	Public health	\$64,915
■ 14.7%	Essential medicines	41,213
■ 13.5%	International development	37,668
■ 6.1%	Technology development and introduction	16,976
■ 4.3%	Cross-program initiatives	12,062
■ 1.3%	Program development	3,667
■ 36.8%	Subawards to program partners	102,940
		<b>\$279,411</b>

(出所) PATH (2017), *Annual Report 2016*, <https://www.path.org/annual-report/2016/> (2018/5/29アクセス); PATH (2016), *2015 Annual Report: From Innovation to Impact*.

# UNAIDS – Joint United Nations Programme on HIV/AIDS

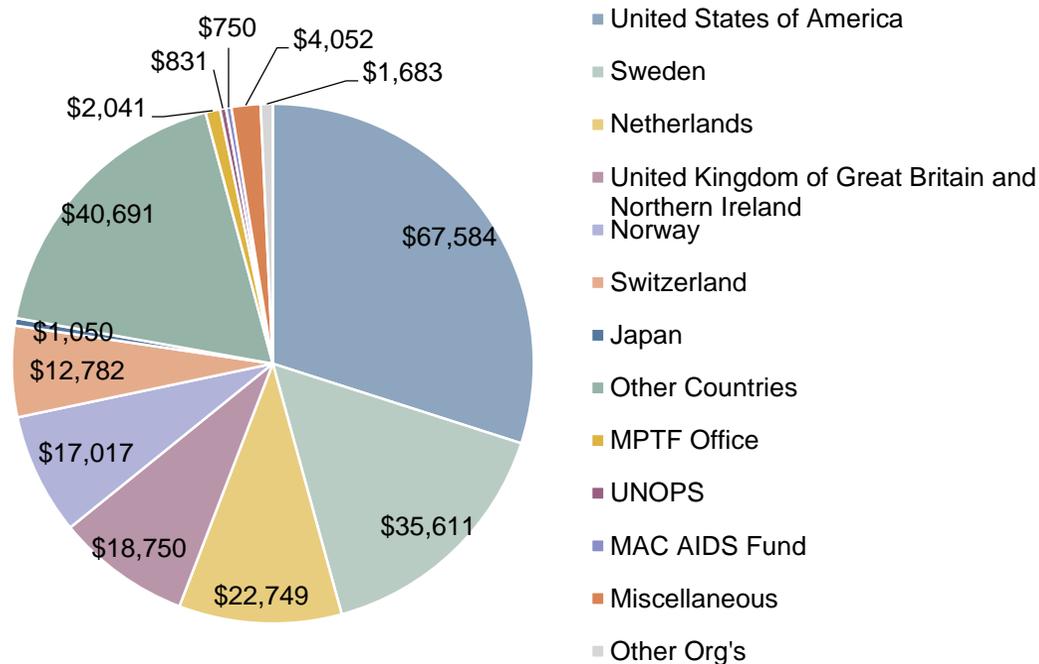
- 2016年のエイズ撲滅に向けた国連政治宣言を受け、2020年に向けた数値目標達成に向けたHIV/AIDS対策の活動を展開。2016年度の年間運用額は2.3億USDとなり前年度とほぼ同額。9割以上は各国政府からの拠出による予算となっている。

## 2020年に向けた数値目標 On the Fast-Track

- To reduce new HIV infections to fewer than 500,000 by 2020
- To reduce AIDs-related death to fewer than 500,000 by 2020
- To eliminate HIV-related stigma and discrimination by 2020

## 2016年の予算提供者 詳細 計: 2.3億 USD

(000 USD)

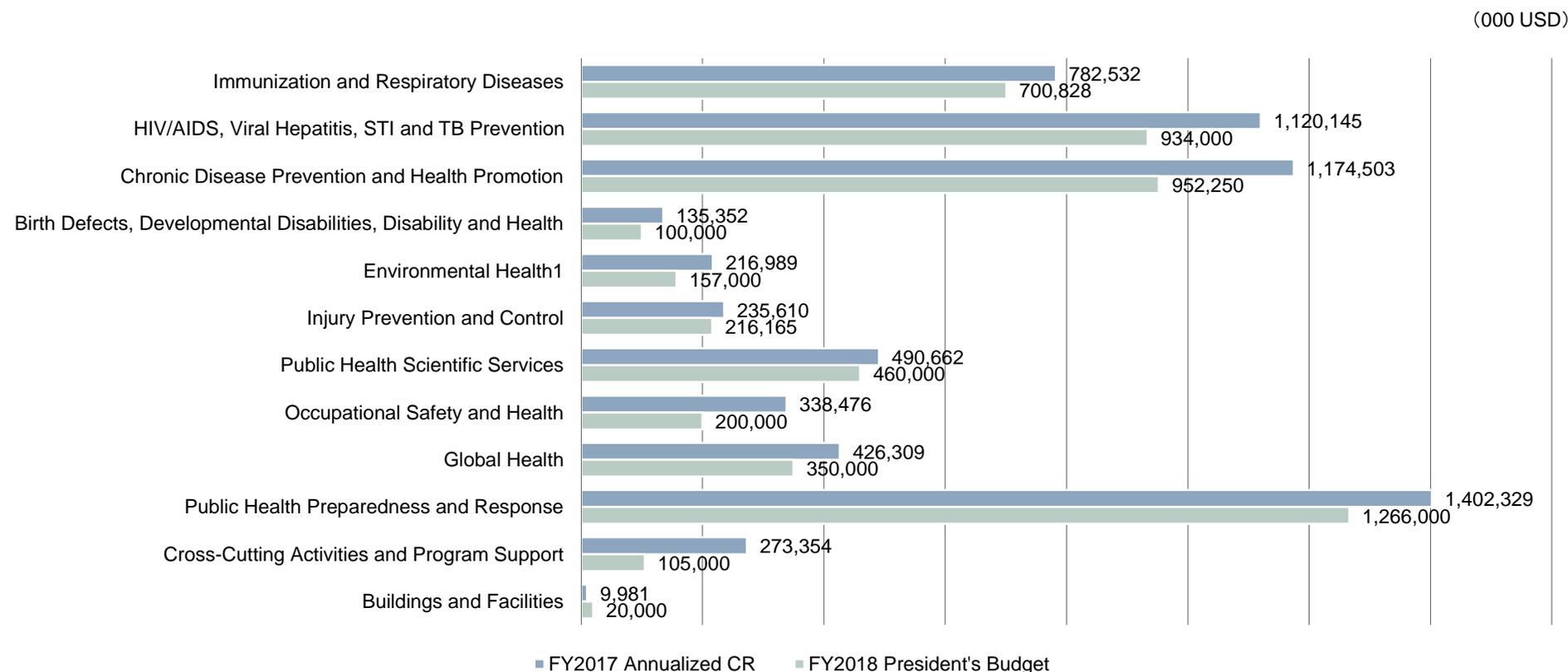


(出所) UNAIDS (2017), "Total contributions 2016", UNAIDS; UNAIDS (2016), *Fast-track Commitments to End AIDS by 2030*, UNAIDS.

# CDC – US Centers for Disease Control and Prevention

- 1946年から活動する米国保健福祉省(HHS)以下の疾病対策研究所。2018年度からは、新大統領のコスト節減の指示のもと、組織全体として予算を削減。CDC、ATSDR(有害物質・疾病登録局)を合わせた予算は60.3億米ドルとなり、前年度から12.2億米ドル(▲17%)の予算削減となった。グローバルヘルス予算も同様の▲18%削減対象となっている。

2018年度の大統領承認予算と前年度の比較 主なプログラム別  
計:60.3億 USD



(出所) CDC (2017), "Overview of the CDC FY 2018 budget request", CDC.

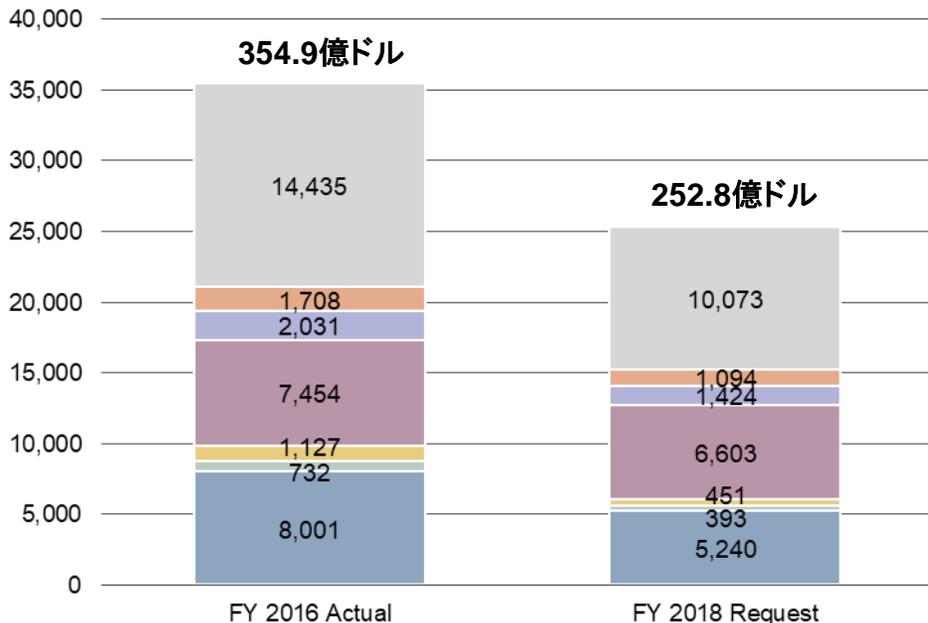
# USAID –米国国際開発庁

- 軍事を除くほぼすべての海外援助を行う政府組織。新大統領の下で、2018年の米国政府の海外援助関連の総予算が30%近くカット。
- 各国向けの予算もほぼ一律に削減、連邦とUSAIDを合わせたグローバルヘルス関連の予算総額は25%削減となり、特にUSAID所轄のグローバルヘルス予算はほぼ半減となった。

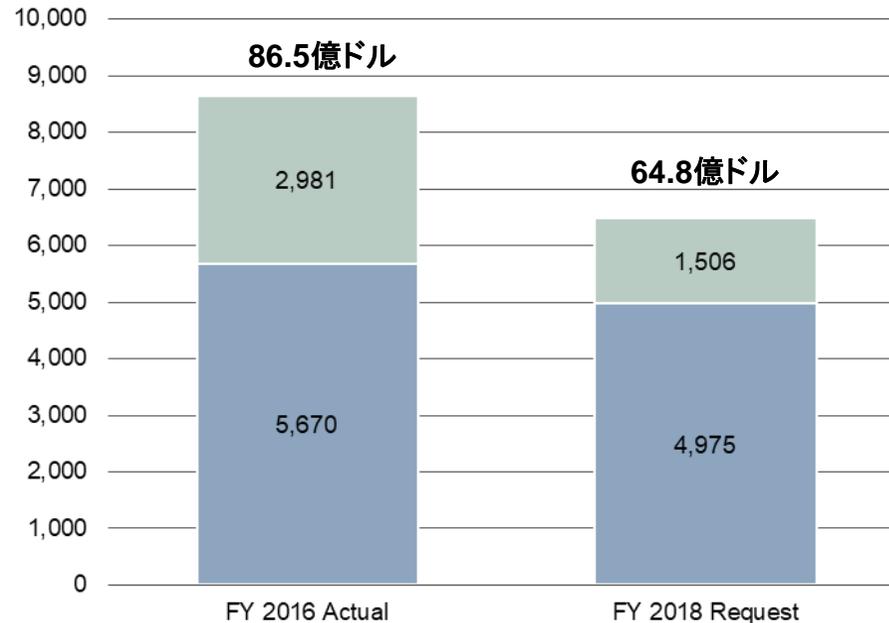
## 米国 海外援助関連総予算の推移

## グローバルヘルス関連予算の推移

(百万ドル)



(百万ドル)



- Africa
- East Asia and Pacific
- Europe and Eurasia
- Near East
- South and Central Asia
- Western Hemisphere
- Others

- Global Health Programs - State
- Global Health Programs - USAID

(出所) 米国政府 (2017), *Congressional Budget Justification: Foreign Assistance, FY 2018*.

## ご利用に際して

---

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、Center on Global Health Architectureの見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づく資料閲覧者各位の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、皆様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、「出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) Center on Global Health Architecture」と明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
Center on Global Health Architecture  
<http://www.murc.jp/corporate/virtual/globalhealth>